

令和元年度 根室地区教育経営研究会

- 1 目的 学校運営に係わる組織・法制上の諸問題を解明し、校長としての職能向上に努め、学校教育のより円滑な推進に資する。
- 2 主催 根室管内小中学校校長会
- 3 後援 北海道教育厅根室教育局 根室市教育委員会 別海町教育委員会
中標津町教育委員会 標津町教育委員会 羅臼町教育委員会
北海道小学校長会 北海道中学校長会 北海道教育振興会
日本教育公務員弘済会北海道支部
- 4 主管 根室管内小中学校校長会 経営部
- 5 日時 令和元年8月28日(水) 9:00~12:00
- 6 会場 中標津町 トーヨーグランドホテル
- 7 参加者 根室管内小中学校校長会会員(42名)
- 8 日程 8:40~8:55 受付
9:00~9:05 開会式
9:05~10:00 解説と質疑
10:15~11:45 講演
11:45~12:00 閉会式



9 解説と質疑

- 北海道中学校長会 事務局長 和田 正教 氏(札幌市立北栄中学校長)
- 北海道小学校長会 研修部幹事 森田 智也 氏(札幌市立篠路西小学校長)
- 北海道中学校長会 情報部副部長 大村 浩喜 氏(苫小牧市立光洋中学校長)

(1) 情勢報告

①北海道小・中学校長会の活動

- ・総会研修会(道小・道中・全連小・全中・全道会長等)
- ・理事研修会(道小年間五回・全中年間六回)
- ・小中合同事務局研修会・合同学習会
- ・文教施策懇談会・各課懇談会(北海道教育委員会とのつながり)
- ・北海道小学校長会教育研究大会、北海道中学校長会研究大会
- ・全国連合小学校長会研究大会(函館)、全日本中学校長会研究大会(鳥取)
- ・道小、道中の刊行物について
- ・組織の運営について
- ・北海道教育委員会への要望書の提出

②情勢報告(国内情勢と道内情勢)

- ・全国学力・学習状況調査の状況について(初めて英語のテストを導入)
- ・ICT活用授業について、児童生徒の思いと実際の授業のズレ
- ・教員の「働き方改革」について(民間コンサルタントの活用等)
- ・大学入試改革について ・教員志望者の確保について ・公立高校の入学試験について
- ・英検 IBA の実施について(「読むこと」と「聞くこと」の2技能の測定)
- ・いじめの対応について



- ・学校へのスマホの持ち込み容認について（全連小、全日中は時期尚早との考え）
- ・(LGBT) 性に関する指導の充実について

10 演習

- 進行 根室管内小中学校校長会経営部長 植島 博幸
- 演習 危機発生時における校長のリーダーシップについて



学校運営に係る組織・法制上の諸問題を解明し、校長としての職能向上と学校教育の円滑な推進を図ることを目的に演習を行った。参加者が9グループに分かれて、「児童生徒に係るかかわること」、「教育行政への対応」、「教職員にかかわること」について、対応の在り方を考え、協議を行った。

(1) 演習1 児童虐待に関すること

ある児童（生徒）の手足に不自然な青アザがあるのを発見したので、児童（生徒）の保護者に連絡したが、保護者は忙しいからと話をしてくれなかった。放置できないと判断し、児童相談所に通告したところ、数日して、児童（生徒）の父親から「うちの子に虐待があると通報したのは学校だろう」と強い口調で抗議があった。

【設問】あなたは、この親に対して、どのように対応するのかを説明してください。

(2) 演習2 教育行政への対応

ある日、校長会議で教育長から次のような伝達があった。

「町長はマニフェストで日本一の教育の町にするといっている。その進捗状況を住民に伝えるには全国学力・学習状況調査の町内平均や学校ごとの結果を公表し、その後の対応策も明らかにすることが必要だと思う。各校とも、具体的対応策を考え、期日までに報告するように。対応策についても学校名と共に公表する。」

一方、各小中学校の校長や現場の教員は一様に公表に対しては否定的である。

- ・「全国学力・学習状況調査の趣旨と反する」
- ・「テスト対策が中心となってしまう本末転倒だ」
- ・「人数が少ない学校では個人が特定されてしまい、児童・生徒がかわいそう」

といった意見が出されている。

【設問】あなたは校長としてどのように対応しますか。

(3) 演習3 教職員に関すること

12月31日、教育委員会から自校の職員の逮捕の連絡を受けた教頭より、休暇中自宅に戻っていた校長の携帯に以下の連絡が入った。

31日未明、男性教諭（初任勤務4年目）が、札幌市の友人宅で飲酒し、飲み物（お酒）を買い足しに近くのコンビニエンスストアに向かう。買い物を終え友人宅に帰宅途中、市営住宅に駐車されている複数台の車のワイパーを手で折り、警察に逮捕され、現在拘留中とのこと。

【設問】あなたは、校長としてどのように考え、今後の対応を行いますか。

学校が危機に直面した場合、その対応に当たっては児童・生徒、保護者、地域や外部機関と日常的にどのようにかかわりをもっているかが大きな鍵となる。したがって、日頃から危機に備えた関係を構築しておくとともに、事件・事故発生時には校長のリーダーシップの下に情報を的確に把握し、全教職員が一致協力して取り組んでいく必要性を再確認する演習となった。